



サロン名の由来

「六本木六丁目で開催しているからよ」とサロン名の由来を話す代表の岡部さん。

「六六サロン」の活動は平成15年から始めて10年以上が経過しました。参加者の入れ替わりはあっても、あたたかいサロンの雰囲気は昔のまま変わりません。

もともとは再開発を機に始まった地域住民の勉強会でした。



サロンはいつもあたたかい雰囲気です



管理会社の人や高齢者相談センターの職員など、さまざまな関係機関の人が参加してくれ毎回新たな情報を提供してくれます

「みんなと出逢えたことが宝物」

これまでの活動で良かったことを伺うと「みんなと出逢えたことが宝物。活動をしている中で、小さなことでも誰かが『良かったね』とか『楽しかったわ』ということがあれば嬉しい」と教えてくれました。

メンバー同士が協力し、お互い助け合うことで「みんなが活動を支える」というサロンの原点があったからこそ、息の長い活動を続けてこられたのだと思いました。

さまざまな人の協力

当初は地域の変化について話し合うことが中心でしたが、時間が経過するにつれて徐々に形を変え住民同士が交流できる場へと変化していきました。活動が住民同士の交流の場へと変わってからは、マンションの管理会社にも「住民同士が交流することの必要性」を時間をかけ関わってもらうことで理解してもらいました。今では担当者が代わっても、しっかりと関わってくれる関係性を築いています。

また、高齢者相談センターの職員にも参加してもらうことで、身近な困りごとでもすぐに相談ができる関係づくりができています。



サロンで出逢った大切な仲間のみなさん